

令和9年度概算要求における 警察庁宇宙関係予算について

令和8年9月28日

警 察 庁

警察庁における宇宙関係予算

- ◆ 警察庁における宇宙関係施策としては、「高解像度衛星画像解析システムの運用」、「通信衛星の使用」等があり、各種警察活動に活用している。
- ◆ 宇宙関係予算として、令和9年度予算概算要求では、約8.9億円を計上している。
(令和8年度当初予算額は約8.9億円を計上)

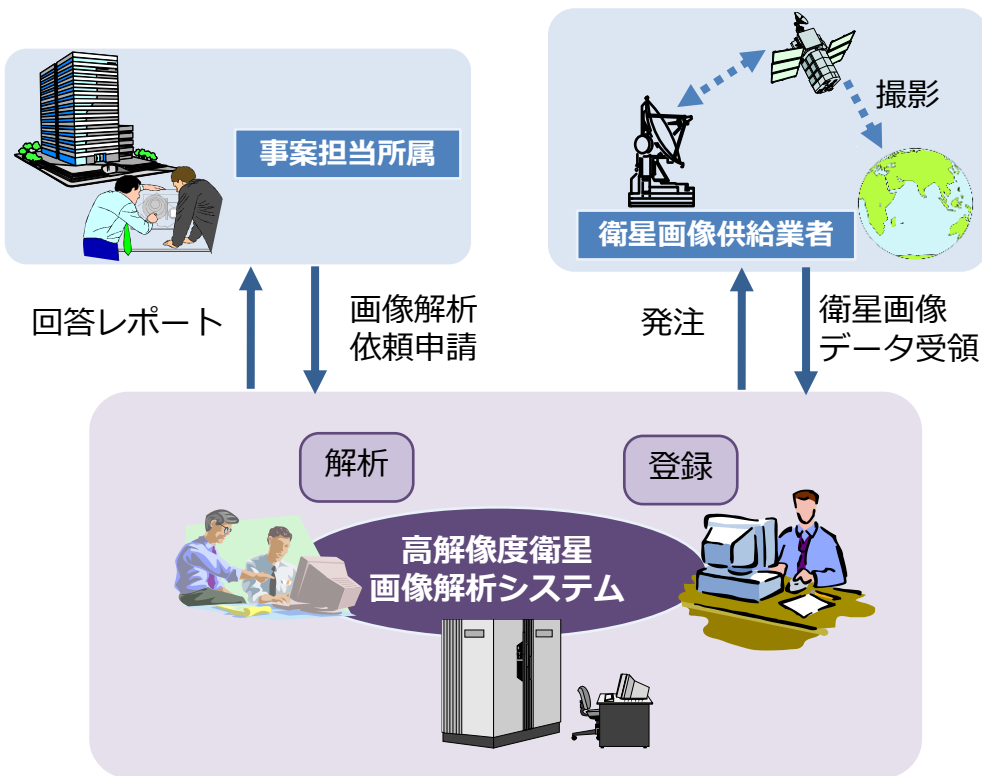
主な宇宙関係予算

施策名称	事業内容	令和9年度 概算要求額
高解像度衛星画像解析 システムの運用	商用衛星から地上を撮影した画像を、衛星画像供給業者から購入して画像解析を行う。解析結果を犯罪捜査、災害対策等の各種警察活動に活用する。	約2.5億円 (借料、運用 経費等)
通信衛星の使用	衛星通信の特徴である広域性・同報性・耐災害性をいかし、大規模な事故や災害の発生に際して、現場の状況を把握して的確な指示を行うため、現場で撮影した映像等を警察庁や都道府県警察に伝送する。	約5.3億円 (回線利用料)

高解像度衛星画像解析システムの運用

事業期間 平成12年度～

事業イメージ



- ◆ 過去に撮影した画像と比較し、経年変化状況等を把握することで、不法投棄等の捜査に活用している。
- ◆ 地震や大雨、火災等が発生した際、災害発生前後の画像から被害規模や状況を把握するために活用している。

通信衛星の使用

事業期間 昭和58年～

事業イメージ



- ◆ 大規模な災害等が発生した場合において、災害現場等の状況を把握して的確な指示を行うため、現場で撮影された映像を、衛星回線を用いて警察庁、警察本部等に伝送している。

(例) 令和8年 熊本地震、岩手県大槌町の林野火災